

校長室だより

至

福



VOL. 7

(R 6. 2. 15)

今年度最後の参観日「四福小発表会」に向けて

いよいよ来週の22日(木)は、今年度最後の参観日、『四福小発表会』を行います。



当日のプログラムは、すでにご覧いただいていることと思います。毎日廊下を歩いてい

ると、教科で学習したことを工夫してまとめたり、素敵な表情で歌を歌ったり、真剣な表情で感謝の気持ちを言葉にしたりしながら一生懸命に取り組む子どもたちの様子を見て、我が子を見ているようにつつい目頭を熱くしています。保護者の皆様方にも、ぜひ、1年間の子どもの成長した姿をご参観いただき、感動の発表会になれば嬉しいです。温かいご声援をよろしく願いいたします。

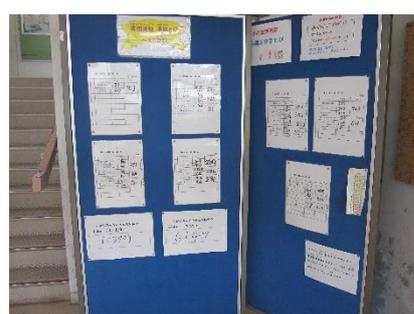
また、図工の作品や校内学校給食展、なかよし・倉敷っ子作品展の出品作品等を特別教室に展示しています。更に、1月から業間運動として全校で取り組んだ「長縄とび大会」に向けて頑張っている子どもたちの様子や、今、話題になっている大谷選手寄贈のグローブもボランティアルームに展示しようと準備を進めています。



はばたき学級の作品



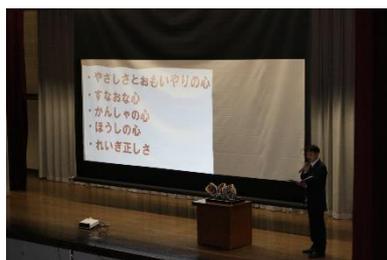
長縄とびでクラスが団結



長縄とびの記録を毎回掲示

大谷選手寄贈のグローブについては、1月22日(月)に臨時の児童朝礼を体育館で行い、迫力ある音楽と映像、空気砲による煙の演出、教員による始球式(学校にあるグローブで)、1年生から6年生までの代表児童による使い初めのキャッチボール等、盛大にお披露目式を行いました。その後、グローブの使い方については、代表委員会で児童が主体的に考えを出し合い、その結果、クラスごとに使用する

る日を決めて、使用しているところです。みんなで決めた取組だからこそ、これからも大切に使用されることと思います。



最後になりましたが、本校には、校庭に3本の大きなポプラの木があります。本校のシンボルとして長年、在校生や卒業生、保護者、地域の皆様方に親しまれ、本校の歴史とともに成長してきました。

しかしながら、寿命がきてしまったようです。子ども達の安全・安心を一番に考え、悲しいことではありますが今年度末で倒すことになりました。御来校の際には、ぜひポプラの木を見ていただき、別れを惜しんでいただけたらと思います。



「鍵盤ハーモニカ LABO」がやってきた【音楽鑑賞会】(2月13日)

年に1回行っている芸術鑑賞会。今年度は、『鍵盤ハーモニカの可能性は無限大!』と題して、妹尾美穂さんの所属するLABOによる生歌・生演奏を鑑賞しました。妹尾美穂さんって誰?と思われる方も

いらっしゃると思います。実は、以前、四福小で音楽の先生として勤務の経験があり、何と!!四福小の卒業式で伝統的に歌われている『至福の時』の作詞・作曲者。四福小を想い作られた歌で

す。今は、プロの鍵盤ハーモニカ奏者として、岡山を中心に活躍中の方です。会場の体育館は、円型に椅子が並べられ、子ども達

もワクワクしながら入場しました。アニメやディズニーソングなど鍵盤ハーモニカの軽快で美しい音色が体育館中に響き渡り、子

ども達は体を動かしながらノリノリの様子でした。鑑賞会の最後

には、「校歌」と「至福の時」を全員で歌いました。まさに、「至福の時」を過ごすことができました。

